

いわき市南部清掃センターに係る見学・体験学習プログラム

作成推進校		いわき市立中央台東小学校
対象児童・生徒		第4学年 69名
事前学習	計画	南部清掃センターで行われている廃棄物発電について、しくみを学習する。
	期待できる成果	社会科「ごみのしよりと利用」の学習と関連させ、事前に施設概要を知ることによって、興味・関心をもち、見学への意欲を高めることができる。
見学・体験学習	計画	南部清掃センターの施設を見学し、職員の方の説明を聞き、廃棄物発電の仕組みを知る。
	期待できる成果	南部清掃センターでは、1日130トンのごみを燃やせる炉が3基あり、ごみを燃やした時の熱で蒸気を発生させ、蒸気タービン発電機により発電を行うことや、蒸気の熱を「憩いの家」のお風呂や施設内の暖房などに利用していることを知ることにより、エネルギーを効率的に利用することの大切さに気づくことができる。また、発電の仕方には、様々な種類があることを知り、その他の発電方法についても興味を持つことができる。
事後学習	計画	見学学習を振り返り、見学してわかったことや感想等を記録して、学習のまとめをする。
	期待できる成果	学んだことをもとに、グループで新聞等にまとめ、掲示することにより他学年や保護者、地域の方へ発信することで、啓発を図ることができる。